

## 建退共岩手県支部

### ちょっと待って！継続すればこんなに差がつく建退共

建退共制度の最大の特長は“ポータビリティー”です。これには「携帯性」と「通算」という意味があります。

全国どこの現場で働いても、ご本人が共済手帳を持参して共済証紙を貼ってもらい、一つの事業所を辞めたときではなく、建設業以外に就職したとか、高齢のため退職といった理由で業界から退かれたとき、それまで働いた期間を通算してお支払いする仕組みです。

したがって、通常は約二年分の500日から請求できますが、長期間掛ければ掛けるほど運用利益をたくさん上乗せしてお支払いしております。

つぎの表は、日額310円で計算した掛金納付年数10年と20年の場合の退職金額の内訳です。

単位：円

	退職金額	掛金総額	構成比率(%)	掛金負担額	運用利益	構成比率(%)
10年(120月)	936,789	781,200	83.39	765,700	155,589	16.61
20年(240月)	2,205,588	1,562,400	70.84	1,546,900	643,188	29.16

一冊目の国の掛金助成分15,500円を差し引いた金額

また、5年間働いた後いったん退職金を受け取り、再就職して5年間で同様に退職金請求をした場合(5年間×2回)と、10年間続けて掛けて退職金請求をした場合を比較すると、なんと12万円余りもの差額となります。

	退職金額	内 訳
10年通算した退職金額	936,789円	
5年ごとの退職金合計額	816,354円	408,177円×2回
差.....額	120,435円	

